

事業概要【大野城市シティプロモーションアクションプランに基づくシティプロモーション事業】

旧制度

申請者	福岡県大野城市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	74,795千円 (53,553千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業	事業分野	まちづくり分野
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> ChatGPT等の生成AIの普及などにより、新しい働き方など人々の価値観や行動様式の変容が見られることから、社会事情をふまえた人口減少克服の取組を進め、次代を担う世代の定住人口の確保とまちの活力を維持していく。 本市では転入超過率が福岡都市圏の自治体と比較して高いことから、地域の中で人の入れ替わりが急速に起こっており、地域活動を支える担い手の高齢化や固定化が懸念されているため、居住地を問わず地域を支える関係人口を創出する。 						
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	<p>○ターゲットが求めている情報に特化したブランディングサイトを制作し、本市の魅力を確認に伝える。</p> <p>・ブランディングサイトの制作（委託料）40,774千円</p> <p>○ターゲットが、本市の魅力を具体的にイメージできるようにターゲットのライフスタイルに応じた動画と冊子を制作する。</p> <p>・プロモーション動画と冊子の制作（委託料）9,790千円</p> <p>○本市への関心度の高さや地域貢献の実績について評価する制度（地域検定等）を通して、本市への愛着形成につなげる。</p> <p>・市民参加型ワークショップの実施（施設使用料）39千円</p> <p>・地域検定の制作（委託料）500千円</p> <p>○大野城ファンクラブを設立し、居住地を問わずに市内外住民が関わりを持てる環境を整備する。</p> <p>・大野城ファンクラブの設立（使用料、委託料）2,450千円</p>					<p>全体概念図</p> <p>関係人口</p> <p>階段を上がることに関心・関与の度合いが増える</p> <p>新しい人に紹介する</p> <p>住む・関わる</p> <p>来る・好きになる</p> <p>知る</p> <p>人と人のつながりがあることで住みたい街・住み続けたい街になる</p> <p>移住・定住</p>	
地域の多様な 主体の参画	<p>本事業は、市民参加型ワークショップ等を通して、地域住民の意見を施策に反映させるほか、産・官・学・金・地域で構成される外部有識者等による診断・評価を通して、各分野の専門的な視点も施策に反映させる。</p>					KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	<p>①転入超過率（＝転入者数÷転出者数）（＋15%）</p> <p>②プロモーション動画の再生回数（＋5,400回）</p> <p>③若年層（15～34歳）の住民参加型ワークショップ参加者数（＋40回）</p> <p>④ファンクラブ会員数（＋1,000人）</p>